

## ■ 基 本 計 画

■ 基 本 目 標

■ 基 本 施 策

■ 施 策 の 方 向

## ■ 計 画 の 推 進



# 基本目標

## 基本目標

### I

## 男女共同参画への意識づくり

男女共同参画社会を実現するためには、あらゆる分野における制度や慣行を見直すとともに、人々の意識改革が必要であります。

つまり、今なお根深く残っている「男は仕事、女は家庭」という、性別による固定的役割分担意識を改めることからはじめなければならないと思います。

そのためには、家庭、地域、職場、学校等のそれぞれの場において、男女平等の理念に基づいた教育、学習を推進し、それを支援していく体制を整備・強化していくことが必要です。

また、男女とも、精神的、経済的に自立し、生涯を通じて、豊かな生活や自己実現をめざすためには、「人はかけがえのない存在で、性別にかかわらず、個人として尊重される」という人権についての意識の浸透を図ることが必要です。





## あらゆる分野への共同参画の推進

豊かで生き生きとした社会を創造するためには、男女があらゆる分野に共同参画していく必要があります。

しかしながら、社会のしくみ、実生活、そして人々の意識の中に、男女の役割分担を固定化する考え方があり、さまざまな分野で政策・方針決定への女性の参画が極めて少ない状況にあります。

女性の社会進出がめざましい今日、特に、女性の意見が十分に反映され、豊かな発想や能力を生かすことができるよう政策・方針決定への女性の参画を促進することが必要です。

また、地域活動やボランティア活動などに対する支援体制も重要ですし、国際交流の情報提供にもつとめ、国際的な視野に立った共同参画を推進することが必要です。





## 働きやすい環境づくり

近年、女性の社会参加はめざましいものがあり、これに伴い、働く女性が増加の傾向にあります。

本来、女性が能力を発揮し、社会がそれを正しく評価していくことは、女性の自立の前提であり、働く権利として保障していかなければならないことです。

しかし、職場慣行における男女格差や性別役割分担意識があり、均等な雇用・待遇に至っていないのが現状であります。

農林水産業、商工業等の自営業においても、生産活動に女性が大きな役割を担うとともに、家庭との両面において働きすぎの状態にあります。

女性が無理なく働き、仕事と家庭が両立できるよう、男性の家事・育児への参加、保育・介護体制などの充実とともに、男女双方の労働時間の短縮を図るなどの労働条件の改善と向上、労働環境の整備が求められますので、関係機関との協力によって意識啓発に努めていくことが必要です。





## 安心で心ゆたかな生活づくり

「人生80年時代」を迎え、全ての人々が生涯を通じて生き生きと暮らしていくうえで、健康づくりに取り組むことが重要です。

これまでの「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割分担意識を改め、一人ひとりが生活者として自立し、家族的責任を果たして、ゆとりのある家庭生活を営むことが大切です。

女性は、妊娠や出産などの機能が備わっており、男性とは異なった健康上の問題に直面します。女性はその健康状態に的確に対応できるよう、健康教育や相談・支援体制の整備が必要です。

また、高齢の人だけの家庭、障がいのある人のいる家庭、ひとり親の家庭など様々な家庭がありますが、いずれの家庭も安心して生活できるよう、生活環境の整備、相談業務の充実を推進することが必要です。

